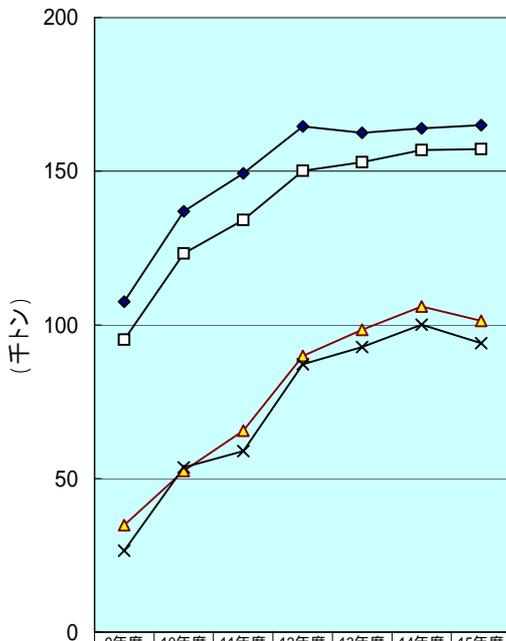


3. ガラスびん(その他色)

傾向としては、無色、茶色と同様であるが、指定法人ルートによる割合が最も大きい(平成9年度:39% 平成14年度:67%)。

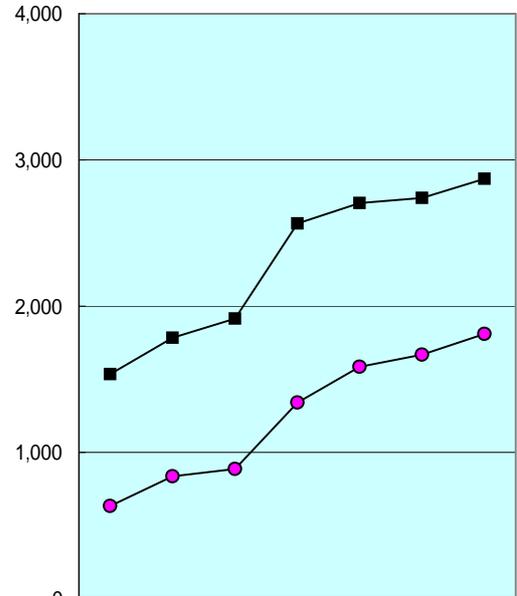
3色中、指定法人ルートを活用して再商品化を行う市町村が最も多い。

【再商品化量推移】



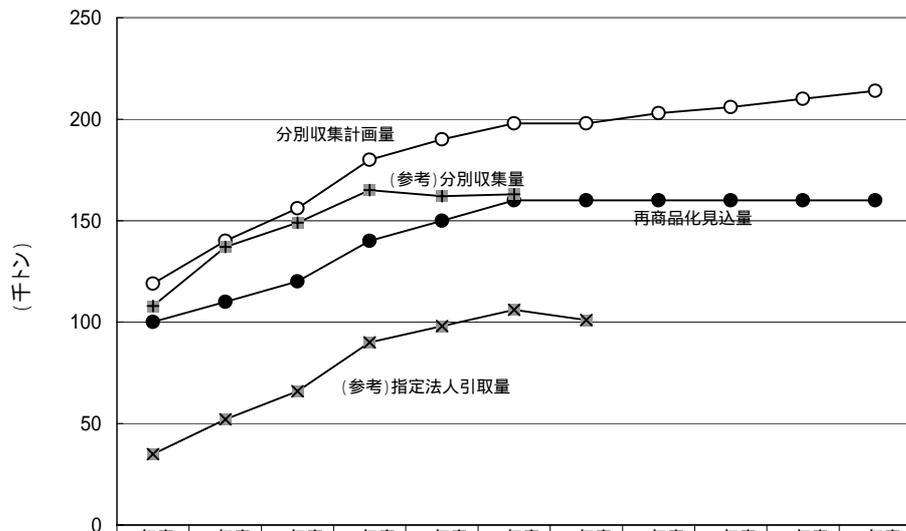
	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
市町村分別収集量	108	137	149	165	162	164	165
市町村再商品化量	95	123	134	150	153	157	157
指定法人引取量	35	52	66	90	98	106	101
指定法人製品販売量	27	54	59	87	93	100	94

【実施市町村数推移】



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
分別収集市町村数	1,535	1,784	1,915	2,566	2,706	2,740	2,872
指定法人引取数	633	836	886	1,341	1,585	1,669	1,811

(参考)再商品化見込量、分別収集量の推移



	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
再商品化見込量	100	110	120	140	150	160	160	160	160	160	160
分別収集計画量	119	140	156	180	190	198	198	203	206	210	214
(参考)分別収集量	108	137	149	165	162	163					
(参考)指定法人引取量	35	52	66	90	98	106	101				